

日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和7年2月18日（火）11：00～11：30

場 所：日本薬剤師会 小会議室4

出 席 者：岩月会長、原口副会長

内容・提出資料：

1. いわゆる「敷地内薬局」について（情報提供のお願い）

（令和7年2月14日 日薬業発第433号）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

敷地内薬局に関する情報提供を、令和5年6月に都道府県薬剤師会に依頼し、その結果を同年9月に報告している。数回にわたる診療報酬改定での敷地内薬局に対する適正化が講じられてきたが、残念ながらその後も保険医療機関による敷地内への誘致事例が散見されている。

一方で、令和6年度診療報酬改定において保険指定された敷地内薬局については、特別調剤基本料Aの届出情報により把握可能となった。このことを受け、敷地内薬局の件数以外の情報、すなわち都道府県薬剤師会で把握もしくは入手している保険指定前の情報（公募要件等を含む）や、保険指定を受けている敷地内薬局であるが保険薬局としての独立性や運用面で問題があると思われる情報、賃貸借関係を歪めるため第三者を介在させている事例、敷地内薬局の更新時に関する情報などについて、都道府県薬剤師会に対して、改めて適宜提供を求めたところである。

2. 日本薬剤師会のホームページリニューアルについて

（令和7年2月6日 日薬総発第29号）

原口副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

2月12日に、本会ホームページのリニューアルを行った。ユーザビリティの向上のため、トップページの視認性向上、導線の整理を図り、「国民のみなさまへ」「薬剤師のみなさまへ」「会員のみなさまへ」「薬剤師を目指す方へ」のタブを設置したほか、サイト内の検索機能の向上、会員ページのログイン画面の最適化などを実施した。

3. 公益社団法人日本薬剤師会 第105回臨時総会の開催について

（令和7年2月14日 日薬発第291号）

原口副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

第105回臨時総会の開催は、3月15日（土）と16日（日）の2日間で行い、会場は「ホテルイースト21 東京」を予定している。

議題は、報告第1号「令和6年度会務並びに事業中間報告の件」、報告第2号「令和6年度補正予算の件」、議案第1号「公益社団法人日本薬剤師会定款一部変更の件」、議案第2号「令和7年度事業計画の件」、議案第3号「令和7年度会費額の件」、議案第4号「令和7年度収入支出予算の件」、議案第5号「令和7年度借入金（会務運営）最高限度額の件」、議案第6号「理事選任の件」である旨、都道府県薬剤師会および代議員に案内したところである。

主な質疑応答は以下のとおり。

〈OTC 類似薬の保険給付の見直しに関する提案について〉

記者：日本維新の会が OTC 類似薬の保険給付除外を提案しているが見解はいかがか。

岩月会長：唐突に出てきた感がある話で、詳細が不明のため論評する段階にないが、これまでスイッチ OTC 化により医薬品へのアクセスを広げてきた仕組みに大きな影響が出る話ではないだろうか。賛成か反対かと問われれば反対である。あらゆることを想定し準備はしなければならないため、会内で議論を始めたところである。

記者：16 日に開催された会合における講演の中で、岩月会長が、薬局の OTC 薬を売る「能力」に懸念を示されたことについて、あらためていかがか。

岩月会長：薬剤師のスキルや薬局の備蓄能力のことではなく、提案が通った際に、十分に対応できる準備・体制が整っているかという意味である。

次回の定例記者会見は、令和 7 年 3 月 4 日（火）11：00～を予定。